

令和 8 年 6 月 1 9 日

交 通 事 故 概 況

令和 8 年 5 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（5月末計上数（確定数））

1 令和8年5月末の交通事故発生状況

区分\内容	5月中		5月末	
		前年比		前年比
発生件数（件）	558	-33	3,773	538
死者数（人）	9	1	29	-15
傷者数（人）	669	12	4,490	733

[過去10年、5月末の推移]

区分\年別	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去平均		R8年
											10か年	5か年	
5月中死者数	9	11	20	12	10	7	11	9	7	8	10	8	9
5月末死者数	52	41	56	42	44	39	38	33	30	44	42	37	29
年間死者数	158	148	141	152	144	120	115	131	104	129	134	120	

都道府県別（5月中）

順位	1		3			
都道府県名	神奈川	兵庫	東京	愛知	茨城	北海道
死者数	10		9			

都道府県別（5月末）

順位	1	2	3	4	5	12
都道府県名	神奈川	東京	愛知	兵庫	茨城	北海道
死者数	61	57	56	53	48	29

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 5月中の死亡事故（死者9人）

- 事故類型別：車両単独が6人(66.7%)、人対車両が2人(22.2%)
- 道路別：市町村道が4人(44.4%)、道道が3人(33.3%)
- 地形・道路形状別：市街地直線、非市街地直線が各々3人(33.3%)
- 発生時間別：20～22時が3人(33.3%)、8～10時、10～12時が各々2人(22.2%)
- 第一当事者年齢別：高齢運転者が5人(55.6%)、若年運転者(24歳以下)による死者が3人(33.3%)
- 第一当事者違反別：最高速度が3人(33.3%)、歩行者妨害、操作不適が各々2人(22.2%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が5人(55.6%)、20～24歳が2人(22.2%)

(2) 5月末の死亡事故（死者29人）

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が12人41.4%（うち歩行者妨害が6人50.0%、前方不注意が3人25.0%）
 - ・ 車両単独が10人34.5%（うち操作不適が3人30.0%、最高速度、安全速度が各々2人20.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が9人31.0%（うち正面衝突が4人44.4%、人対車両が3人33.3%）
 - ・ 市町村道が9人31.0%（うち人対車両が6人66.7%、車両単独が2人22.2%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が9人31.0%（うち人対車両が7人77.8%）
 - ・ 市街地直線が7人24.1%（うち車両単独が4人57.1%、人対車両が3人42.9%）
 - ・ 非市街地直線が7人24.1%（うち車両単独が3人42.9%、人対車両2人28.6%）
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が6人20.7%（うち車両単独が3人50.0%）、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人16.7%）
 - ・ 18～20時が5人17.2%（うち人対車両が5人100.0%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 高齢運転者による死者が11人37.9%（うち車両単独が5人45.5%、正面衝突が3人27.3%）
 - ・ 若年運転者(24歳以下)による死者が6人20.7%（うち人対車両、車両単独が各々2人33.3%）
- 第一当事者違反別：
 - ・ 歩行者妨害が6人20.7%（人対車両が6人100.0%）
 - ・ 前方不注意が6人20.7%（うち人対車両が3人50.0%、正面衝突、車両単独、踏切事故が各々1人16.7%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が18人62.1%（うち人対車両が9人50.0%、車両単独が5人27.8%）
 - ・ 20～24歳の死者が3人10.3%（うち正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人33.3%）
 - ・ 50歳代の死者が3人10.3%（うち車両単独が2人66.7%、踏切事故が1人33.3%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者17人中、シートベルト非着用者は11人(64.7%)であり、そのうち8人(72.7%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 4月末30日死者：
 - 歩行者が5人、交通事故発生後24時間以上30日以内に死亡している。

(3) 方面別発生状況

5月中の死者数は、札幌方面が7人(77.8%)、釧路方面が2人(22.2%)となっている。

5月末の死者数は、札幌方面が16人(55.2%)、釧路方面6人(20.7%)、旭川方面が3人(10.3%)、函館方面、北見方面が各々2人(6.9%)となっている。

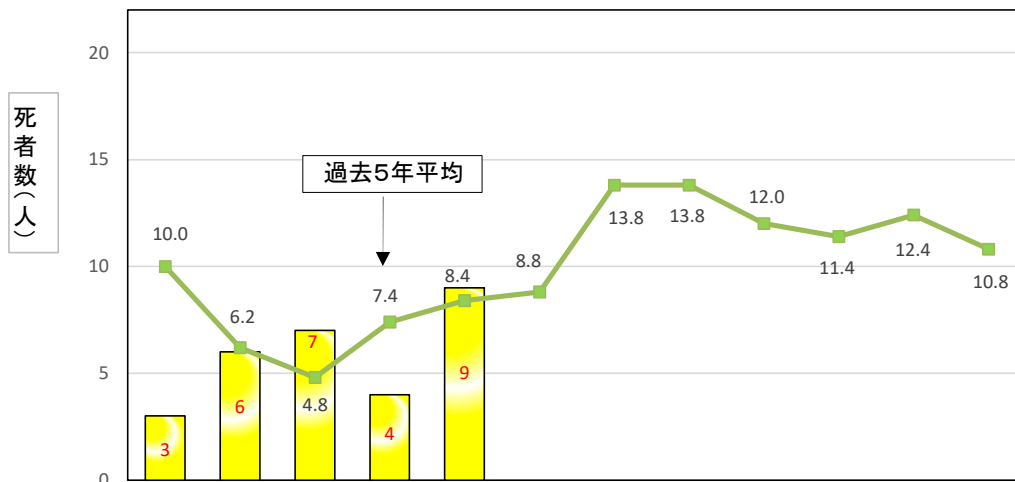
方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		
		前年比		前年比		前年比	
5月中	全道	558	-33	9	1	669	12
	札幌方面	413	-16	7	3	492	16
	函館方面	35	-7	-1		42	-7
	旭川方面	49	-15	-2		60	-9
	釧路方面	43	1	2	1	49	2
	北見方面	18	4			26	10

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		
		前年比		前年比		前年比	
5月末	全道	3,773	538	29	-15	4,490	733
	札幌方面	2,877	504	16	-6	3,436	691
	函館方面	213	6	2	-1	264	5
	旭川方面	357	38	3	-2	420	48
	釧路方面	236	-16	6	-4	262	-22
	北見方面	90	6	2	-2	108	11

(4) 月別発生状況の推移

5月中の死者数は9人で過去5年平均8.4人を上回っている。

5月末の死者数は29人で過去5年平均36.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	3	6	7	4	9								29
年間累計	3	9	16	20	29								
過去5年平均	10.0	6.2	4.8	7.4	8.4	8.8	13.8	13.8	12.0	11.4	12.4	10.8	119.8
累計平均	10.0	16.2	21.0	28.4	36.8	45.6	59.4	73.2	85.2	96.6	109.0	119.8	

(5) 都道府県別死者数

5月中は神奈川県、兵庫県が各々10人で最も多く、次いで東京都、愛知県、茨城県、北海道が各々9人となっている。

5月末は神奈川県が61人で最も多く、次いで東京都57人、愛知県が56人、兵庫県が53人、千葉県が48人、北海道は29人で12位となっている。

区分\都道府県	神奈川	兵庫	東京	愛知	茨城	北海道	福岡	埼玉	静岡	千葉	全国
5月中死者数	10	10	9	9	9	9	8	8	8	6	191
ワースト順位	1	1	3	3	3	3	7	7	7	10	-
前年比	3	7	3	-2	3	1	0	0	4	3	19
増減率(%)	42.9	233.3	50.0	-18.2	50.0	12.5	0.0	0.0	100.0	100.0	11.0

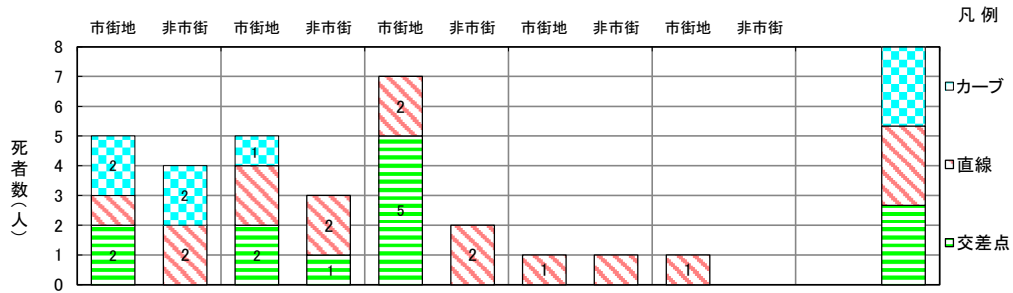
区分\都道府県	神奈川	東京	愛知	兵庫	茨城	千葉	福岡	大阪	埼玉	静岡	全国	北海道
5月末死者数	61	57	56	53	48	46	41	38	34	33	988	29
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	12
前年比	2	3	12	19	11	-1	6	-12	-15	2	6	-15
増減率(%)	3.4	5.6	27.3	55.9	29.7	-2.1	17.1	-24.0	-30.6	6.5	0.6	-34.1

3 5月末の死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道、市町村道が各々9人(31.0%)となっている。

- ・ 国道は、市街地交差点、市街地カーブ、非市街地直線、非市街地カーブが各々2人(22.0%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が5人(55.6%)、市街地直線、非市街地直線が各々2人(22.2%)

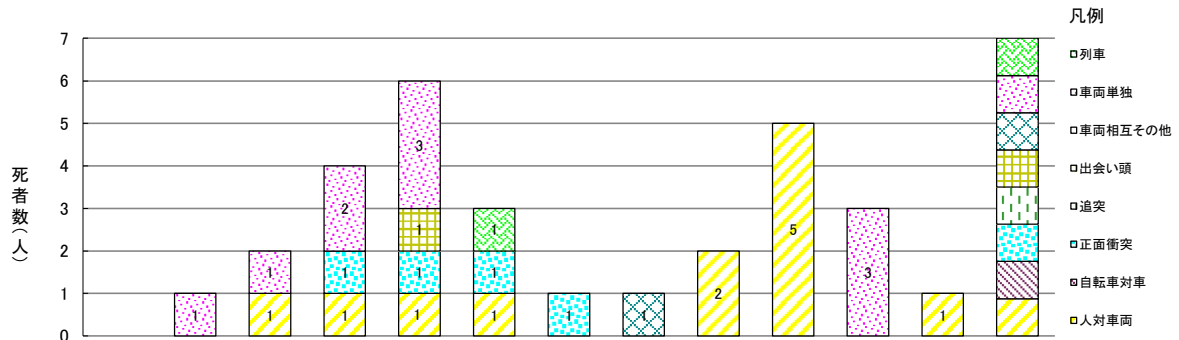


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	9	8	9	2	1	29
構成率(%)	31.0	27.6	31.0	6.9	3.4	100.0
過去5年構成率	34.2	23.9	31.5	3.8	6.5	100.0

(2) 時間別

8~10時が6人(20.7%)、18~20時が5人(17.2%)となっている。

- ・ 8~10時は、車両単独が3人(50.0%)、人対車両、正面衝突、出会い頭、各々1人(16.7%)
- ・ 18~20時は、人対車両が5人(100.0%)

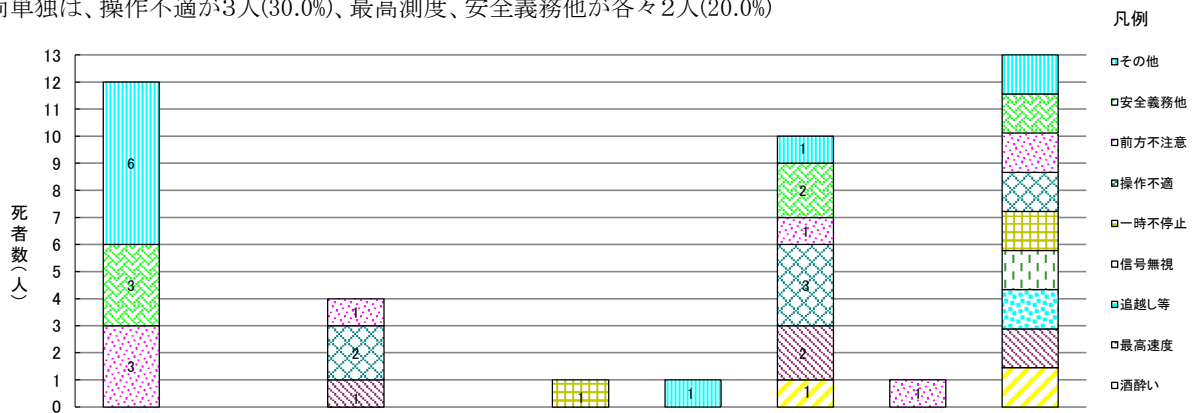


区分\時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死者数		1	2	4	6	3	1	1	2	5	3	1	29
構成率(%)		3.4	6.9	13.8	20.7	10.3	3.4	3.4	6.9	17.2	10.3	3.4	100.0
過去5年構成率	3.8	1.6	5.4	7.1	12.0	10.9	14.1	12.0	10.3	10.3	8.2	4.3	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が12人(41.4%)、車両単独が10人(34.5%)となっている。

- ・ 人対車両は、その他(歩行者妨害を含む)が6人(50.0%)、前方不注意と安全義務他が各々3人(25.0%)
- ・ 車両単独は、操作不適が3人(30.0%)、最高速度、安全義務他が各々2人(20.0%)



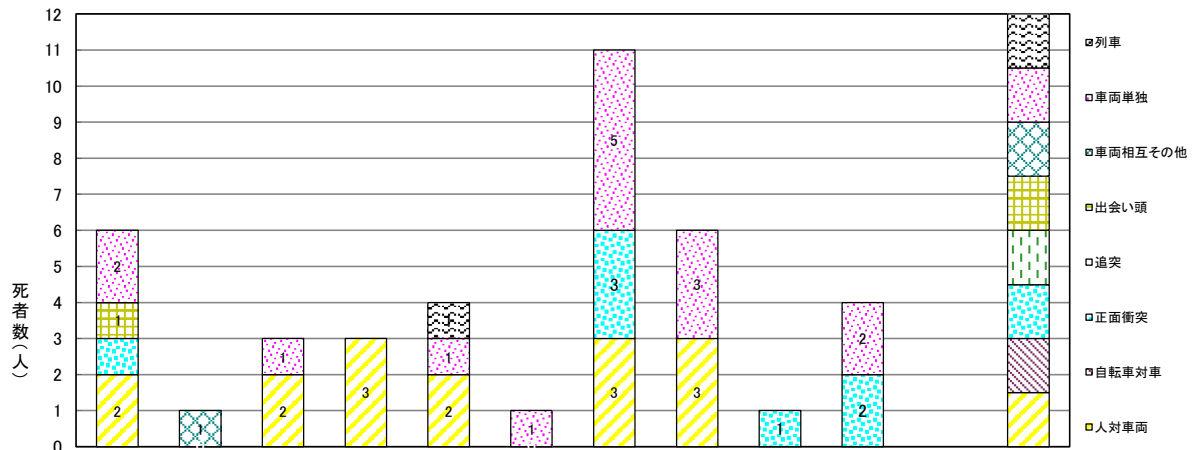
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	12	1	4		1	1	10	1	29
構成率(%)	41.4	2.7	13.8		3.4	3.4	34.5	3.4	100.0
過去5年構成率	31.5	2.7	20.1	1.1	9.8	4.3	29.9	0.5	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別:

高齢運転者が11人(37.9%)、若年者(25歳未満)の運転者が6人(20.7%)

- ・ 高齢運転者は、車両単独が5人(45.5%)、正面衝突が3人(27.3%)
- ・ 若年運転者は、人対車両、車両単独が各々2人(33.3%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	6	1	3	3	4	1	11	6	1	4		29
構成率(%)	20.7	3.4	10.3	10.3	13.8	3.4	37.9	20.7	3.4	13.8		100.0
過去5年構成率	4.3	4.9	5.4	20.1	16.3	8.7	34.8	12.5	6.5	15.8	5.4	100.0

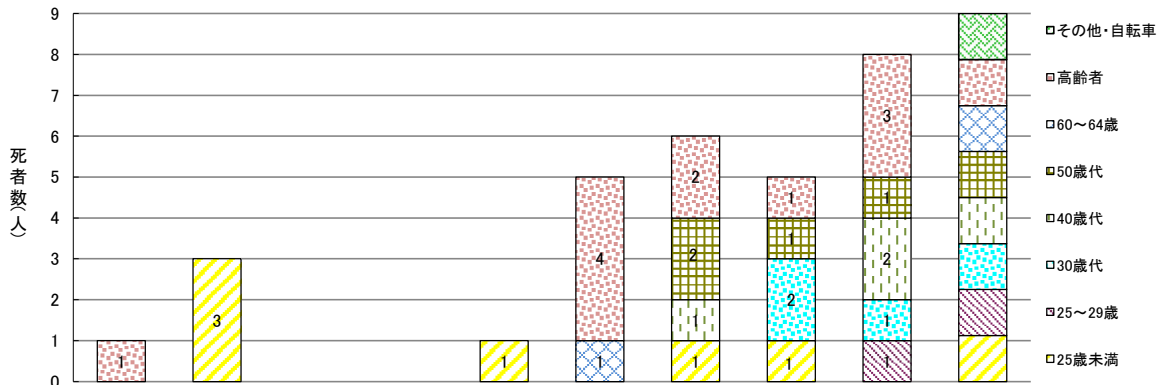
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

その他(歩行者妨害を含む)が8人(27.6%)、前方不注意が6人(20.7%)となっている。

- ・ その他(歩行者妨害を含む)は、高齢運転者の死者が3人(37.5%)、40歳代運転者による死者が2人(25.0%)
- ・ 前方不注意は、50歳代運転者、高齢運転者による死者が各々2人(33.3%)

凡例



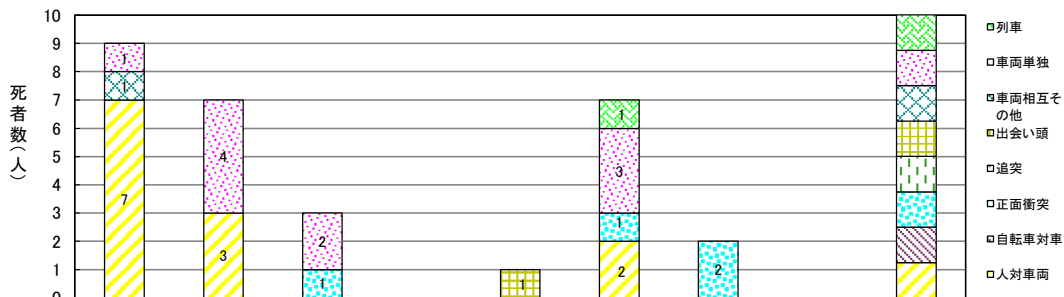
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数	1	3			1	5	6	5	8	29
構成率(%)	3.4	10.3			3.4	17.2	20.7	17.2	27.6	100.0
過去5年構成率	1.1	9.2	1.6	4.3	4.3	13.6	31.0	14.1	20.7	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が9人(31.0%)、市街地直線、非市街地直線が各々7人(24.1%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が7人(77.8%)
- ・ 市街地直線は、車両単独が4人(57.1%)、人対車両が3人(42.9%)
- ・ 非市街地直線は、車両単独が3人(42.9%)、人対車両が2人(28.6%)

凡例

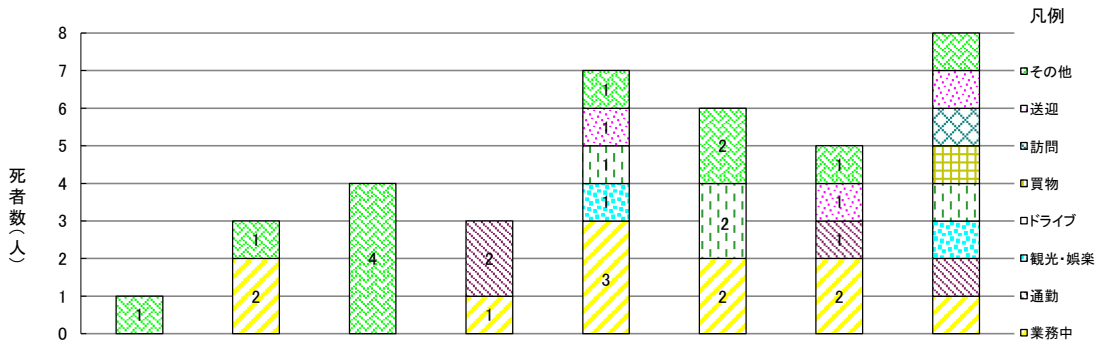


地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	9	7	3	19	1	7	2	10	29
構成率(%)	31.0	24.1	10.3	65.5	3.4	24.1	6.9	34.5	100.0
過去5年構成率	31.0	17.9	3.8	52.7	7.1	27.2	13.0	47.3	100.0

(7) 曜日別

木曜日が7人(24.1%)、金曜日が6人(20.7%)となっている。

- ・ 木曜日は、業務中が3人(42.9%)、観光、ドライブ、送迎が各々1人(14.3%)
- ・ 金曜日は、業務中、ドライブが各々2人(33.3%)

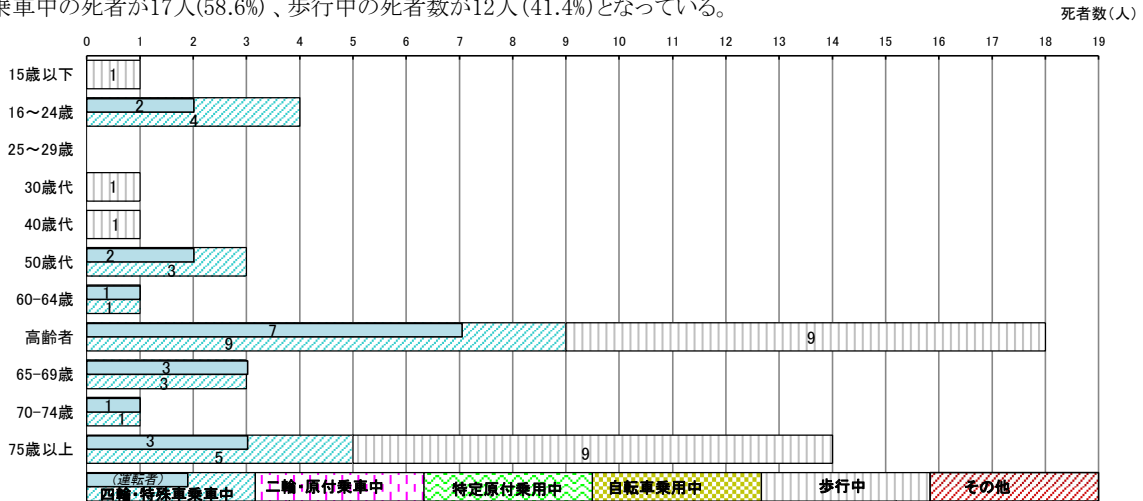


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	1	3	4	3	7	6	5	29
構成率(%)	3.4	10.3	13.8	10.3	24.1	20.7	17.2	100.0
過去5年構成率	12.0	15.2	17.9	9.8	14.1	18.5	12.5	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者が18人(62.1%)、16~24歳の死者が4人(13.8%)となっている。

四輪乗車中の死者が17人(58.6%)、歩行中の死者数が12人(41.4%)となっている。



状態別 年齢層別		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	死者数							
16~24歳	死者数	4						4	13.8	2.2
25~29歳	死者数									1.1
30歳代	死者数					1		1	3.4	6.5
40歳代	死者数					1		1	3.4	10.9
50歳代	死者数	3						3	10.3	13.0
60~64歳	死者数	1						1	3.4	7.1
高齢者	死者数	9				9		18	62.1	56.5
65~69歳	死者数	3						3	10.3	12.5
70~74歳	死者数	1						1	3.4	7.6
75歳以上	死者数	5				9		14	48.3	36.4
計	死者数	17				12		29	100.0	
	構成率	58.6				41.4		100.0		
	過去5年構成率	56.0	6.5		4.3	32.1	1.1	100.0		

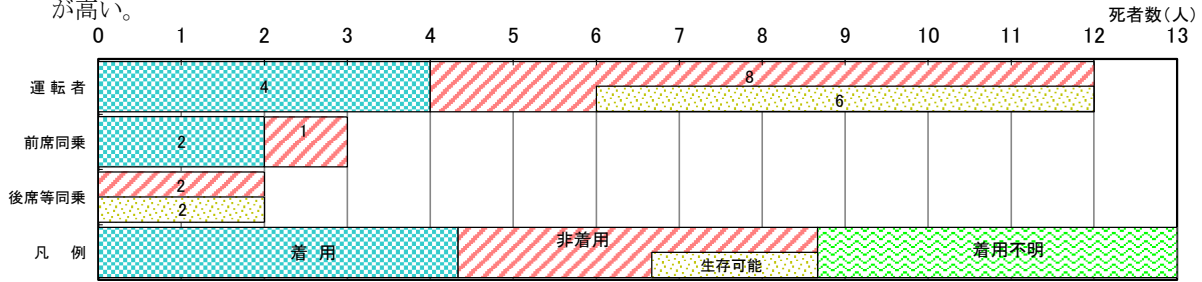
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者17人中、シートベルト非着用者は11人(64.7%)となっている。

非着用者の11人のうち8人(72.7%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用			計	非着用			着用不明	
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席		計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可		同乗者(後部席) 生存可
令和7年	17	6	4	2	11	8	6	1	2	2
構成率(%)	100.0	35.3	66.7	33.3	64.7	72.7	75.0	9.1	18.2	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が6人(54.5%)、50歳代が2人(18.2%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用	2				1		3	1	1	1		6
構成率(%)	33.3				16.7		50.0	16.7	16.7	16.7		100.0
ヘルト非着用	2				2	1	6	2		4		11
構成率(%)	18.2				18.2	9.1	54.5	18.2		36.4		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者6人の損傷加害部位をみるとハンドルが5人(45.5%)、計器盤、ドア・窓が各々2人(18.2%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ヘルト着用			1		1			1	1	2			6
構成率(%)			16.7		16.7			16.7	16.7	33.3			100.0
ヘルト非着用	1		5		2	2			1				11
構成率(%)	9.1		45.5		18.2	18.2			9.1				100.0
運転者	1		5		1	1							8
構成率(%)	9.1		45.5		9.1	9.1							72.7
同乗者					1	1			1				3
構成率(%)					9.1	9.1			9.1				27.3

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。